

板橋区都市計画マスタープランの改定について

平成23年3月に「板橋区都市計画マスタープラン（第二次）」を策定したが、その後区の上位計画である「板橋区基本構想」及び「板橋区基本計画2025」が策定されたことや、区内のまちづくりの具体化など板橋区を取り巻く環境が大きく変化している。

また、東日本大震災等の教訓を踏まえたまちづくり、少子化・超高齢化・人口減少社会への対応、環境負荷の低減に資する対応、公共交通機関の利便の向上の検討、地域レベルのまちづくりへの対応等取り組みを進めていく必要があることから、平成28年度から2年間をかけて改定を進めている。

改定を進めるにあたり、板橋区都市計画マスタープランの改定骨子案を作成したので報告する。

1 改定骨子案の概要

(1) 板橋区都市計画マスタープランの改定の役割

本計画では、今後のまちづくりを推進するための都市づくりのビジョンを設け、板橋区に住んでみたい、住み続けたいと評価されるためのハード・ソフトを含めた、都市整備分野を超えた施策連携を行い、縦割りでない組織横断的な施策を実現することで、従来型の都市計画マスタープランにない戦略的な取り組みを展開していく。

都市づくりのビジョンは、新たな視点としてつよみや地域の特徴を存分に引き出すことにより、多様な価値や魅力を創造し、新たなブランドイメージを構築する。

この都市づくりのビジョンに多種多様な価値観を持つ人々が「共感」することで、「都市生活の質（QOUL[※]）」を向上させ、「東京で一番住みたくなるまち」として評価されるまちをめざす。

※QOUL (Quality Of Urban Life)

- ・一般的に「人生の内容の質や、社会的に見た生活の質を指し、人がどれだけ人間らしい生活や、自分らしい生き方をしているか考えるためのもの」をQOLと言う。
- ・区では、都市計画マスタープランにおいて、QOLにU (Urban) を追加し、「都市生活の質（QOUL）」と考えて取り入れる。

(2) 板橋区の特性と都市づくり課題

上位計画や社会情勢、板橋区の都市づくりを展開する上で、分析等から浮かび上がってきた活かすべき特性、人口動向、区民の評価（アンケート結果）等を踏まえて、都市づくりの特徴と課題を明確化し、以下の2つの視点で整理を行った。

〔視点①〕 板橋区をつよみを活かす、伸ばす

〔視点②〕 次世代が魅力を感じる新しい価値を創造

(3) 都市づくりのビジョンの取り組み

都市づくりのビジョンでは、ア. QOUL テーマ別の都市づくり、イ. 板橋区がめざす将来都市構造、ウ. 都市整備分野別のまちづくりの展開方針、エ. エリア別のまちづくりの展開方針の4つの柱で取り組みを推進する。

ア. QOUL テーマ別の都市づくりの目標像・都市づくりの方向性

QOUL テーマ別の都市づくりでは、都市整備分野を超えた施策連携を行い、縦割りでない組織横断的な施策を実現するための6つの都市づくりのテーマ（QOUL テーマ）を設定し、各テーマでの将来目標、都市づくりの方向性（施策）や他部門との連携策を展開する。

また、各テーマで先導的な取り組みを行い、取り組みのノウハウを取得するとともに周辺のまちづくりを誘発させる。

〔6つの都市づくりのテーマ（QOUL テーマ）〕

共通テーマ 協働×マネジメント

【キーワード】 ユニバーサルデザイン、スマートシティ、エリアマネジメント

テーマ① 駅・鉄道や商店街を中心とした利便性の高いまち

【キーワード】 駅を中心とした拠点育成、交通結節点の強化、商店街の活性化

テーマ② ライフステージにあわせて住み続けられるまち

【キーワード】 ライフステージ、子育て、健康、医療、大学連携

テーマ③ ものづくり産業の力を活かして育てるまち

【キーワード】 操業環境の維持・充実、住工共存、産業ブランド化、企業BCP

テーマ④ 地域の個性を活かした環境・文化を創造するまち

【キーワード】 景観、歴史・文化、まちの回遊性、観光、環境教育

テーマ⑤ 甚大な災害にも強いまち

【キーワード】 防災都市づくり、事前復興、物流業者との連携

イ. 板橋区がめざす将来都市構造（仮イメージ）

板橋区がめざす将来都市構造では、拠点や軸（ネットワーク）など、板橋区がめざす都市の基本的な骨格を記載する。今後検討を進め、板橋区がめざす将来都市構造を明確化する。

ウ. 都市整備分野別のまちづくりの展開方針

都市整備分野別のまちづくりの展開方針では、主に都市計画・まちづくりの領域について、都市整備分野ごとの基本的な考え方や都市づくりの方針を展開する。

〔都市整備分野〕

・拠点育成・土地利用の誘導

【キーワード】土地利用の誘導、拠点形成、駅を中心としたまちづくり

・道路・交通ネットワークの形成

【キーワード】総合的な交通戦略、利便性向上、自転車、ユニバーサルデザイン

・住宅・コミュニティの形成

【キーワード】住宅の維持・更新、若者・子育て世代の定住促進

・緑と水の創出・保全

【キーワード】農、緑の保全・活用、公園施設のユニバーサルデザイン

・都市環境（低炭素型社会）の向上

【キーワード】低炭素社会の構築、生物多様性、うるおいのある生活環境

・街並み・景観の形成

【キーワード】景観の質の向上、地域特性を活かした街並み・景観の形成

・安心・安全なまちづくり

【キーワード】防災拠点のネットワーク、迅速な復旧・適切な復興、防犯

エ. エリア別のまちづくりの展開方針（エリア区分の設定）

エリア別のまちづくりの展開方針では、都市づくりのビジョンにおけるエリア別の特徴を存分に引き出すことで、多様な価値・魅力を創造すると共に、エリアごとの課題に対応したきめ細やかなまちづくりを実現する。

エリア区分では、これまでの5地域の地域活動やコミュニティのまとまりを踏まえつつ、区民の生活の拠点となっている鉄道駅を中心とした日常的な買い物、通勤・通学等

